

■ 目的・目標

- ・ 今後日本が目指す「健康長寿社会」に関し、**個別業界、企業、行政を超えた新社会システム**として構想を試みる
- ・ 上記のために「若年者の健康維持・向上の実態」と「健康長寿社会」の問題や課題を、**システム視点で分析し、健康寿命が延伸した場合の問題点を明らかにし、それを解決するモデルをデザインする**
- ・ その一部のPoC（概念実証）を行い、発展性のある健康長寿社会システム構築のベースを構築し、**新たなエコシステム・ビジネスモデル**スタートのトリガーをつくる

■ これまでの議論の経緯と今後の重点

問題意識のすり合わせ、第1回から3回

人生100年のために何が必要か？

人生100年時代に想定される社会問題・課題とは

- ・ 高齢者が病院に行くのを防ぐ
- ・ できるだけ病院の外に出す。病院に依存しない生き生きとした人生を

人生100年時代に想定される社会問題・課題



	健康	経済	生きがい
社会	高齢者の健康維持・向上の実態	高齢者の健康維持・向上の実態	高齢者の健康維持・向上の実態
家族	高齢者の健康維持・向上の実態	高齢者の健康維持・向上の実態	高齢者の健康維持・向上の実態
個人	高齢者の健康維持・向上の実態	高齢者の健康維持・向上の実態	高齢者の健康維持・向上の実態

HIT理事 東大病院心療内科 吉内先生
「“病院の外へ”は一概に言えないが、身体機能を高めるだけでなくQOLを高めることがキーとなる」

上記を前提にSIC・システムヘルスケア分科会参加の実施したいこと→**高齢ドライバーの認知力のPoCの実施へ**

①ステイホーム、在宅リモートワークの健康への影響

人生100年時代を見据えた働き方の見直し
長寿時代に備えた健康な働き方
継続した学習、学び直し、生涯学習
※アフラック様 調布市総務省プロジェクト
SCSK様、富士通様

②首尾一貫した個人の健康データ管理

個人の健康管理データの取得とそのデータの利活用。そのための信頼性の高い個人健康データ（首尾一貫データ）
金融ジェントロジー（高齢者の金融資産運用）
※三井住友信託銀行様、SCSI様

③高齢社会を前提としたモビリティ社会

高齢者の自動車運転をサポートする仕組み
新たなモビリティ社会を高齢化社会に生かす方法
モビリティを活用した新サービス
※損保ジャパン様 マツダ様

③高齢ドライバー認知機能PoC

ドライビングシミュレータを活用し、**高齢ドライバーが運転を継続することで認知機能を維持することを検証する**
※プロジェクトリーダー：損保ジャパン、メンバー：マツダ、三井住友信託、ニューチャーネットワークス、東大、阪大
2021年4月計画スタート

人生100年時代での社会システム基盤のモデルの構想